

沖縄振興特別推進交付金活用 多良間村自然文化継承事業 令和4年度報告会

発見！古の多良間 古文書から紐解く島の歴史

期日 令和5年2月11日(土)

場所 ふれあいフクギ館(コミュニティー施設)

開場 午後4時(展示・タッチパネル紹介)

開始 午後5時～午後7時

入場 無料

開催 ハイブリット開催(対面+オンライン)

多良間村では、平成30年度から令和3年度の4年間沖縄振興特別推進交付金を活用し、ふるさと俗学習館所蔵の古文書(こもんじょ)を修復・現代語訳等行ってきました。

令和4年度から後継事業として今後3年間事業が展開されます。今回は、初年度の実績報告とパネルディスカッションを行います。

また、古文書の現代語訳の作業から**未発表の組踊り**

台本や**島の生活が窺える文書**が**発見**されました。

その報告と島の歴史について、顧みたいと思います。

オンラインでも開催

ご参加お待ちしております!!

Zoom

ID: 842 2940 4583

パスコード: 452449



○アトラクション 多良間小学校4年生「八月踊り(スース・女踊り・ヨーンシー)」

○報告 多良間村教育委員会 桃原薫

事業説明 山田 豊(株式会社 Nansei)

文書解説「疫病(天然痘・疱瘡)対策と多良間島」豊見山 和行

「多良間島の豊かな家譜資料」山田 浩世

「多良間島で新たに発見された組踊りについて」鈴木 耕太

「多良間古文書のなかの書状史料について—いくつかの史料の紹介を通して—」麻生 伸一

「系図家譜」の表紙の補強のために中込めされた反故紙が「系図家譜」や『惣頭物成帳』を繋ぐ」金城 善

○パネルディスカッション

進行 平良 斗星(スタートライン株式会社)

パネラー 豊見山 和行(琉球大学 名誉教授) 金城 善(元系満市立中央図書館長) 麻生 伸一(琉球大学 人文社会学部教授)

鈴木 耕太(沖縄県立芸術大学 芸術文化研究所 准教授) 山田 浩世(沖縄県教育庁文化財課史料編集班)

主催:多良間村教育委員会 共催:株式会社 Nansei 問い合わせ:0980-79-2674 担当:桃原